

第2章 現 状

1 教育を取り巻く情勢

(1) 教育への期待

○我が国の教育は、明治以来国民の熱意と努力に支えられ、人格の完成及び国民の知的水準を高め、豊かな社会形成の基盤として大きな役割を果たしてきた。とりわけ小中学校教育は、教育の機会均等を実現しながら高い教育水準を確保する希有な成功例として、いまなお、国際的にも高い評価を得ている。

○一方、豊かな社会の実現と共に家庭や地域の教育力の低下、子どもの学ぶ意欲や体力、規範意識の低下等様々な課題も深刻である。今後はこれまで以上に変化の激しい時代の到来が予測される。我が国が持続的に発展していくために果たす教育の役割はますます大きくなっている。

子どもたちは中央市の宝である。厳しい経済情勢の下、所得格差や雇用不安が拡大している中で、中央市の子どもたちの未来を切り拓くために設けられている市立学校の果たす役割は大きい。教育費の負担軽減等、安心して学べる諸条件の整備が重要である。

○豊かな社会の実現と共に、生涯学習及び生涯スポーツへの多様なニーズが高まっている。総合的な見地から社会教育諸施設の整理統合を含めた拡充が必要である。また、行財政改革の視点から補助金の見直しも必要である。

○少子高齢化が進行する中で、家庭、学校、地域社会の教育力の低下が叫ばれて久しい。教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る」と諺にあるとおり、教育は家庭、学校、地域社会が連携して行うことが肝要である。この度の新教育基本法は、家庭教育の充実、とりわけ、「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有する」と明記され、行政に対しては、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育支援策を講ずることを求めている。

(2) 心の豊かさを求める社会

我が国は、物質的な豊かさを求める社会から、人と人、人と自然が共に生きる、心の豊かさを求める社会に移行しつつある。しかし、急激な変化や多様化、先行き不透明感等から、個人が明確な目的をもち意欲的に取り組むことが、以前より困難になっている。

雇用情勢が厳しく、いわゆる「フリーター」や「ニート」は、深刻な状況にある。日本人の長所である勤勉、忍耐や辛抱強さ等の特性も失われつつある。若者が自立して生きていくためには、望ましい勤労観や主体的進路選択能力や態度を育てることが大切である。一方、経済性や利便性を過剰に追求する風潮や、他人に責任を転嫁する安易な姿勢、自分さえ良ければ良いという自分勝手な「個人主義」の蔓延も見受けられる。

多様化した社会においては、個性や能力の発揮が利己的な個人主義に陥らないよう、社会の一員として自覚し行動できる意識や態度を養うとともに、お互いの良さや違いを認め合い尊重しながら、心豊かで創造的に生きていくことができる人づくりが求められている。

(3) 少子高齢化・核家族化

中央市は、県内の市では最も緩やかではあるが、それでも少子化が進んでいる。少子化はきめ細やかな教育には良いが、切磋琢磨する機会が減り、たくましい子どもが育ちにくい弱点がある。地域においても、異年齢子ども社会が衰退し、地域における子ども同士の間関係づくりが難しく、子どもクラブ等の活動も衰退している。

家庭は最初の学びの場であるが、核家族化の流れは留まることなく、また、離婚等に伴う父子家庭や母子家庭が増加している。親が子育ての経験を得にくく、親が親としての役割を果たしにくい状況から、子育てやしつけに不安・悩みを持つ親の増加や家庭の教育力低下が進んでいる。また、祖父母や親の過保護や過干渉により、子どもの生活体験や自立が妨げられている面がある。

不況や雇用不安が続き、いわゆる「格差社会」が進行する中で、自らも将来への不安を抱え、子育てにも不安を抱えている親がいる。家庭でしつけるべき基本的な生活習慣が身につけていない子供が増えている。中には親になりきれない親や、クレーマー、時にモンスターペアレントとも言えるべきケースもあり、あらゆる関係者がストレスを抱え悩んでいる実態もある。

中央市の高齢化率は現在 16.9%。県内の市では一番低いが高齢化は確実に進行している。一般市民はもちろん、高齢者が、生きがいのある充実した人生が送れるように、多様なニーズに応える生涯学習事業が求められている。また、高齢者の豊かな経験や知恵・技能が、様々な分野で生かされるような地域社会が求められている。

(4) 科学技術の発展と情報化

情報化を中心に科学技術の発展がめざましい。生活を便利にするとともに、経済や産業を支える基盤として大きな役割を果たしてきた一方で、環境破壊に代表されるような負の産物も生み出してきた。

社会を豊かにする科学技術を振興するためには、科学技術がもたらす負の部分にも配慮できる幅広いものの見方や考え方等の科学的素養を身に付けるとともに、常に新たな知識や技術を習得するための生涯にわたり学び続ける態度をもつ人材の育成が求められている。

インターネットに代表される情報通信技術の発展は、多くの情報を瞬時に手に入れることを可能にし、政治、経済、文化等に様々な変革をもたらしている。その一方で、個人情報漏洩、ネットワーク犯罪、携帯電話のメールやインターネットによるいじめに代表されるような人権問題等、負の側面も指摘されている。高度情報化社会を生きる子どもたちにとっては、ネット社会に関する正しい認識をもつとともに、「情報活用能力」や情報モラル・マナーを身に付けることが強く求められている。

(5) 国際化

情報通信技術の進歩に伴い、グローバル化が進み、様々な分野における相互依存の関係がますます強くなっている。別の面から見れば大競争社会でもある。いわゆる知識基盤社会、21世紀に求められる生きる力の基本は「知」である。確かな知識を身につけたたくましい子どもが求められている。

国際社会に生きるためには、世界的な視野をもつとともに、自国ならびに他国の文化、伝統を尊重する態度や、外国語能力をはじめとする幅広いコミュニケーション能力を身に付けなければならない。

本市は、外国籍住民が多い。外国人登録している人だけで約2,200人(全人口の約7%)が生活している。その約7割がブラジル籍である。現在143人の外国籍児童生徒が市立小中学校で学んでいる。多文化を理解し、多文化をもつ人々と共に生きていく資質・能力・態度が求められている。また、日本語指導教員や通訳の配置等、諸条件の充実が求められている。

平成6年8月、田富中と中国都江堰中とが友好国際交流学校協定を締結し、相互に訪問し友好を深めている。平成21年度からは市内中学校生徒の訪問に拡大した。また、平成20年度より中学生語学研修事業を実施し、オーストラリア国、ケアンズ市でファームステイ、ホームステイを中心に語学研修を実施し、国際理解を深めている。

(6) 環境問題

地球温暖化等、環境問題が深刻化している。持続可能な循環型社会の構築を目指す必要がある。環境問題は、身の回りから地球規模までと広範囲に及び、学習場面も、教科、道徳、特別活動、総合的な学習時間等多岐にわたる。学校では、家庭・地域と連携し、発達段階に応じた取組を行い、知的理解を深め、主体的に行動する態度や資質・能力をはぐくむことが大切である。また、理解だけに留まらずに、省エネ、リユース、リサイクル、リデュース等一人一人が、できることをできるときにできるだけ実践することが求められている。

2 子どもたちの現状

(1) 情報化

情報化の進展は、便利で豊かな社会を創出した。今や、ほとんどの家庭にパソコンがあり、子ども専用のパソコンを備えている家庭も少なくない。学校における情報教育の充実とも相俟って子どもたちの情報活用能力の進展には目を見張るものがある。一方、情報化の影の部分として、社会をたくましく生きていくために必要な人間関係形成能力や言語能力が培われにくくなっている。

調査(平成20年度「全国学力・学習状況調査」)によると、山梨県における一日のテレビ等の視聴時間が3時間以上に及ぶ児童生徒の割合は、小学6年生で48.9%、中学3年生で43.6%

と、いずれも全国平均を上回っている。本市も同様で、多くの児童生徒が長時間テレビ等を視聴し、地域で群れる子どもが少ない。テレビゲーム等に夢中で、家庭学習時間の少ない子どもが増え学力の二極化が進んでいる。

本市校長会の調査によるとケータイ電話の保有率は、小学生が約25%、中学生が約60%で年々増える傾向にある。メールやネットの利用時間は、1日2時間以上が、中学生では40%近く、4時間以上メール等に時間を費やしている子どももいる。全国的傾向と同じようにケータイ電話によるトラブルもある。

(2) 学力と学習時間等

平成19～21年度文部科学省「全国学力・学習状況調査」によると、中央市立学校の児童生徒の国語、算数・数学の平均正答率は、全国及び山梨県と比較してほぼ同等である。基礎的知識を問うA問題は正答率が高い数値を示したが、知識を活用するB問題はそれより相当低く、「知識」については指導の成果が出ているが、それを「活用」する力に課題がある。

同調査によると、中央市の小中学生は家庭学習の時間が全国に比べて少なく、学力の二極化が進行している。家庭で予習や復習をする学習習慣が身に付いていない児童生徒が多い。学習塾等に通っている子どもの割合は全国に比較して少ない。

同調査による、本市の小中学生は「朝食を毎日食べる」「将来の夢」「学校に持って行くものを確かめる」「学校で友達と会うのが楽しい」等で積極的な回答が多い。ただし、「家庭学習時間」が少なく、長時間「テレビ等を見ている」割合が高い。さらに「最後まで回答を書こうと努力した」割合が少ない。

(3) 体験活動、読書活動、部活動

ケータイ電話やインターネット等が広く普及し、さらに、ゲーム等によるバーチャルな世界の「疑似体験」も高度に発達し、それに費やす時間が増加している。そうしたことを背景に、中央市でも人や社会、自然等と直接ふれ合う体験の機会が乏しくなっている。

平成20年度「全国学力・学習状況調査」によると、山梨県の小・中学生の平日の読書時間は全国平均をやや上回っている。また、「学校読書調査」によると、小・中学校、高等学校と進むにつれて、読書離れの傾向にある。中央市も同様であるが、特色ある読書活動を推進し、少しずつ読書離れを改善しつつある。

中学校の部活動は人間形成に大きな役割を果たしている。市立中学校の部活動はきわめて盛んである。市内の中学生はほぼ全員が部活動に励み、体育部・文化部ともに好成績を上げている。平成21年度県中学校総合体育大会では本市のバスケットボール男子、バレーボール女子、ソフトテニス男子、新体操が団体優勝した。文化部では合唱部、吹奏楽部の活躍が顕著である。

(4) いじめ、不登校、問題行動

いじめは絶対に許されない行為であるが、いつでもどこでも起こりうる問題でもある。本市でも毎年数例報告されている。常に早期発見早期対応に努め、いじめられている子どもの人権を守る立場に立って指導に当たることが大切である。

中央市の平成20年度の不登校者数は小学校0.15%、中学校3.01%。県平均より少ないとはいえ深刻な課題である。中学1年で不登校が急増する、いわゆる中1ギャップも見られる。

ケータイ電話がらみの問題行動が増えている。女生徒には性に関わる問題も多い。問題行動の背景の一つに家庭崩壊等がある。

(5) 規範意識

「万引き」等法律違反や身近な人に迷惑をかける行為について、規範意識が薄れている。登下校の公衆マナー等についても課題が多い。

叱れる大人が減っている。愛の反対は無視することである。発達段階に応じた規範意識や倫理観の醸成に、家庭や社会と連携して取り組むことが重要である。

(6) 健康、体力等

文部科学省の「体力テスト・健康実態調査」により、こどもたちの体力を比較すると、殆どの学年で全国平均を下回っている。部活動やスポーツ少年団等の活動は活発であるが、一方、運動習慣の差による体力の二極化傾向も顕著である。

朝食の欠食傾向は加齢とともにその割合が増加している。中央市は県平均よりは良いが、朝食を摂らない児童生徒が若干名いる。

パソコン、ゲーム、ケータイの普及にともない生活の乱れが目立つ。同調査によると、小学校6年生の就寝時刻は、11時以降と回答した者が全国では18.44%、山梨県でも13.00%となっている。メールやゲーム等に熱中する子どもも多く、基本的な生活習慣の乱れが顕著である。「早寝 早起き 朝ごはん」運動は時宜に適っている。

障がいの重複化や多様化等が進んでいる。これまであまり理解されていなかった、発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、ADHD、学習障がい等)について、早期発見、早期支援が必要であることが分かってきた。

1 各学校の現状 (平成21年9月現在)

(1) 小学校

三村小学校

三村小学校		所在地		電話		校長氏名		創立記念日								
		中央市成島2140		273-8711		片田俊一		4月27日								
学規	学年	1	2	3	4	5	6	合計								
	クラス数	2	3	2	2	2	2	13								
	児童生徒数	57	60	58	61	53	63	352								
学校教育目標	「自ら学び」たくましく自己実現を図る子どもの育成」															
よく考え、進んで学ぶ子ども 思いやりがあり、助け合う子ども ねばり強くやり抜く子ども 健康で明るく、元気な子ども	やる気 やさしさ こん気 げん気															
学校経営の重点	<p>学校経営の重点(具現化に向けて)</p> <p>(1) 基礎的・基本的な学力の定着と個に応じた学習指導の工夫を図る</p> <p>(2) 授業に地域教材や人材の導入、活用を図り、地域に根ざした教育実践に努めると共に地域に開かれた学校づくりを進める</p> <p>(3) 読書指導を始め全教育活動とおし国語力の向上を図る</p> <p>(4) 安全環境の充実を図り、子どもたちが安心して学習に専念できるようにする</p> <p>(5) 児童会活動とおし、主体的に考え、行動できる児童の育成に努める</p> <p>(6) 学校評価を充実し、より良い教育活動の材料とする</p> <p>(7) 新指導要領に対応できるよう、研究を行う</p>															
特色ある教育活動	<p>国際理解教育の一環としてALTによるハローワールドを行い、遊びやゲームを通して外国の文化・風俗・習慣等を知る機会を設けている</p> <p>外国籍児童の支援のため日本語指導を実施し、通訳の配置を行い、きめ細かな対応をしている</p> <p>特別支援学級(ひまわり学級)や通級指導教室(サポートルーム)があり、特別支援教育を充実させている</p> <p>情報教育指導員が配置され、1年生から計画的な情報教育指導を実施している</p> <p>きめ細かな加配により、高学年において算数のIT指導を行い、きめ細かな指導を行っている。また1,2年生においては30人学級を実施している</p> <p>国語力向上を目指し朝読書に取り組み、図書館活動の充実にも努めている</p> <p>開かれた学校づくりを目指し年4回の学校開放日(あじさいコンサート、もみじコンサート)、給食試食会、親子交通安全教室、さらにPTA主催の講演会や起震車体験など多彩な活動を企画し開かれた学校づくりに努めている</p>															
項目	曜日	月～金曜日			備考			主な行事								
時 定 表	職員出勤	8:15			<ul style="list-style-type: none"> ・業前活動(みむらの時間) 8:25～8:35 火、木曜日は10分間読書 月、水、金曜日は各学級で習熟度を高める学習活動 ・クラブ活動、年5回 ・委員会活動 年5回 ・職員打合せ 4:45～ 月、水、金曜日 			<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して ・学校開放日(年4回) ・愛校作業(年5回) ・児童会活動 ・委員会活動 ・親子活動 1学期 ・一年生を迎える会 ・自然体験教室(5年生) ・修学旅行(6年生) ・防災引き渡し訓練 ・救急法講習会 ・給食試食会 ・親子交通安全教室 ・親睦球技会 ・芸術鑑賞会 ・仲良しランチ ・縦割り集会 ・ドッジボール大会 ・家庭訪問 2学期 ・運動会 ・陸上記録会(6年) ・もみじコンサート ・スケート教室(3,4年生) ・教育を語る会 ・個別懇談 3学期 ・スキー教室(5,6年生) ・席書大会 ・なわとび大会 ・新入時保護者説明会 ・6年生を送る会 								
	児童登校	8:15														
	職員打合せ	8:25～8:35														
	朝の会	8:35～8:45														
	1校時	8:45～9:30														
	2校時	9:35～10:20														
	3校時	10:45～11:30														
	4校時	11:35～12:20														
	昼食	12:20～13:10														
	昼休み	13:10～13:25														
	清掃	13:25～13:45														
	5校時	13:50～14:35														
	6校時	14:40～15:25														
	帰りの会	15:25～15:40														
児童下校	夏季 16:20 冬季 16:10															
職員退勤	17:00															
教 育 課 程	学年	教 科									道 徳	外 国 語 活 動	特 別 活 動	総 合	年 間 時 間 合 計	
		国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 工	家 庭 科	体 育						
	1	272		136		102	68	68		102	34		34			816
	2	280		175		105	70	70		105	35		35		875	
	3	235	70	175	90		60	60		90	35		35	95	945	
	4	235	85	175	105		60	60		90	35		35	100	980	
	5	180	90	175	105		50	50	60	90	35	35	35	75	980	
	6	175	100	175	105		50	50	55	90	35	35	35	75	980	

玉穂南小学校(含下河東分校)

玉穂南小学校		所在地				電話		校長氏名	創立記念日	
		中央市下河東2020				274-1122		宮川 恒雄	9月28日	
学 校 規 模	学 年	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	玉穂南小学校分校	合計
	ク ラ ス 数	2	2	2	1	1	1	2	1	12
	児 童 数	58	44	51	40	36	38	7	3	277

1 学校教育目標 基本目標 「個性豊かで、心身ともにたくましく生きる子どもの育成」
 (1) 自ら課題をもってしっかり学ぶ子ども(知)
 (2) 感謝と感動と思いやりのある心をもつ子ども(情)
 (3) 善悪の判断をして正しく行動する子ども(意)
 (4) たくましい体で体験活動のできる子ども(体)

2 目標達成のための指導の重点
 基礎的・基本的な事項が確実に習得できるように、児童の能力や意欲に応じた学習指導方法の改善に努める。
 朝の帯タイムの充実を図り、学ぶ楽しさを体得させるなかで、自ら学ぶ意欲と習慣を育てる。
 個性を重視し、児童の力に応じたきめ細かな学習指導を推進する。
 「道徳の時間」の指導を充実するとともに、学校生活全般を「道徳的实践育成の場」と意識して指導する。
 児童会活動などの児童の主体的な活動を促進し、楽しく規律ある学校生活の充実を図る。
 特別支援教育、外国籍児童教育等の推進、充実を図る。
 英語指導助手(ALT)を効果的に活用し、国際理解教育の推進、充実を図る。
 朝読書や図書館の活用などを通して読書活動を盛んにし、国語力の向上と共に豊かな人間形成に努める。
 必要に応じ、学習活動の様々な場面でコンピューターを活用する。
 環境教育、福祉教育の推進、充実を図る。
 体験的活動、その他特色ある教育活動を推進する。
 食教育及び体力向上をめざした活動の推進、充実に取り組む。

今年度の主な教育活動の紹介
 1 1単位時間の弾力的な運用とノーチャイム制の導入
 ・1単位時間は45分とする。教科によっては、指導内容のまとまりや学習活動の内容を考慮して教育効果を高める観点から、90分の連続授業や20分・25分の分割授業など、弾力的な運用を行う。
 ・ノーチャイム制をとることにより、より授業時間の弾力化を促進し、児童に時間の管理を身につけさせる。

2 本物の芸術に触れる取り組み
 ・本物の芸術に触れる取り組みを始めて3年目となる。昨年度は、ノコギリ演奏家を招いての演奏会や文化庁主催の舞台芸術鑑賞会等を実施した。今年度は、1学期に落語や独楽回しなどの伝統芸能鑑賞会をそして、2学期には、文化庁主催の舞台芸術鑑賞会を実施する予定である。

3 たまなんトープの活用
 ・本校には、保護者と協力して、ピオトープ「たまなんトープ」がある。これは、子ども達に自然とふれあい、自然への正しい理解を深める場とする事を目的に9年前に造られたものである。今年度も子ども達の体験学習の場として活用していきたい。ちなみにピオトープとは、ドイツの動物学者が提唱した「生命bio」と「場所top」を合成したドイツ語である。

項目	曜日	月～金曜日	備考	主な行事
時 定 表	職員出勤	8:20	朝活動の内容(8:25-8:35) 月曜日-健康タイム 火曜日-チャレンジタイム フレンドリー集会、学校集会 水曜日-読書タイム 木曜日-チャレンジタイム 金曜日-歌の広場、読書タイム 6校時帯の主な内容 月曜日-職員会議、委員会活動、クラブ活動 水曜日-校内研究会(集団下校)	4月-入学式、始業式、1年交通安全教室、PTA定期総会、授業参観、家庭訪問、児童総会 5月-3年自転車教室、引き渡し訓練、1年給食試食会、6年球技会 6月-市教委学校訪問、5年自然教室、芸術鑑賞教室、学校開放日、音楽集会、救急蘇生法講習会 7月-管理主事学校訪問、PTA役員会、学校保健委員会、愛校作業、1学期終業式 8月-2学期始業式 9月-夏休み作品展、避難訓練、PTA役員会、運動会、学校創立記念日 10月-6年修学旅行、就学時検診、芸術鑑賞教室、授業参観、6年陸上記録会 11月-ふれあい広場、音楽集会、学校開放日、児童会選挙 12月-個別懇談会、3・4年スケート教室、2学期終業式 1月-3学期始業式、校内書き初め大会、PTA役員会、5・6年スキー教室、学校開放日、来入児体験入学 2月-来入児保護者説明会、授業参観、PTA学年部会、6年生を送る会 3月-PTA役員会、卒業式、修了式、離任式
	児童登校	8:20		
	職員朝礼	8:20～8:25		
	朝の会	8:35～8:45		
	1校時	8:45～9:30		
	2校時	9:35～10:20		
	3校時	10:50～11:35		
	4校時	11:40～12:25		
	昼食	12:25～13:15		
	昼休み	13:15～13:30		
	清掃	13:35～13:50		
	5校時	13:55～14:40		
6校時	14:45～14:30			
帰りの会	15:30～15:45			
児童下校	16:15			
職員退勤	17:05			

教 育 課 程	学 年	教 科										道 徳	外 国 語 活 動	特 別 活 動	総 合	年 間 時 間 合 計
		国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 工	家 庭	体 育						
1	272		136		102	68	68		102	34		34		816		
2	280		175		105	70	70		105	35		35		875		
3	235	70	175	90		60	60		90	35		35	95	945		
4	235	85	175	105		60	60		90	35		35	100	980		
5	180	90	175	105		50	50	60	90	35	35	35	75	980		
6	175	100	175	105		50	50	55	90	35	35	35	75	980		

田富小学校

田富小学校		所在地			電話		校長氏名		創立記念日													
		中央市布施 2 1 2 2			TEL 2 7 3 - 2 1 1 7 FAX 2 7 3 - 0 6 3 7	早川 憲三		5月23日														
学校規模	学年	1	2	3	4	5	6	特支	合計													
	クラス数	3	3	3	2	3	3	1	18													
	児童生徒数	65	67	88	69	78	83	3	453													
学 校 経 営 の 重 点	<p>中央市の教育の基本 『まごころ』 3つの柱 ・生きる力をはぐくむ教育 ・命を大切にす教育 ・信頼しあう教育</p> <p>校訓 「明るく 直く すこやかに」</p> <p>学校教育目標 たくましく、心の美しい子ども (体育、徳育) ともに学び、ともに生きる子ども (共育共生) みずから気づき、学び、判断し、実行する子ども (知育)</p> <p>経営の方針 「心身とも二たくましく、自主的・自律的に行動する子どもの育成」のため A 基礎的知識・理解・体力(読み、書き、計算、しなやかな体)の育成 B コミュニケーション能力(生活規律、学習規律、聞き取る力、判断力、表現力)の向上 C 関心、意欲、好奇心の向上(多様な人間関係の構築と体験行動の充実) 子どもにとって安全で楽しい学校生活ができる環境を整える。 学習規律を確立し、基礎学力を定着できる指導と学習環境づくりに努める。 コミュニケーション能力を高め、自律した人格形成を目指して「言葉の重視」と「体験の充実」を中核とした実践に取り組む。 実践と協力を学べる豊かな生活体験ができる家庭作りを働きかける。 いかなる教育的取り組みも、その成果は「信頼と尊敬」の上に成り立っている。 子ども、保護者との信頼関係の向上と地域、行政関係者との連携に努める。</p>																					
特色ある教育活動	<p>朝の活動(朝の時間の活用) ・月曜日、水曜日の朝の読書活動(読書指導、地域ボランティアによる読み聞かせ等の実施) ・木曜日 歌(音楽委員会による歌指導、歌声づくり、音楽集会等)</p> <p>地域と連携した教育 ・地域教材・人材を活用した授業(粘土節保存会との連携による郷土学習、運動会での発表・市の祭りへの参加) ・地域の人の協力による総合的な学習(稲作、陶芸等) ・市の関係機関との連携による授業(環境学習等) ・市の図書館ボランティアによる「おはなし会」の実施 ・地域の幼稚園、保育園との交流 外国籍児童への支援 ・日本語指導教室における指導、通訳との連携指導、外国籍児童保護者会の実施</p>																					
項目	曜日	月 ~ 金			曜日	備考		主な行事														
時 定 表	職員出勤	8:25				朝の活動(通年) 月・水 読書活動 火・金 学活(学級裁量) 木 歌		1学期 ・入学式 ・一年生を迎える会 ・家庭訪問 ・授業参観・PTA総会 ・交通安全教室 ・スポーツテスト ・1日学校開放日														
	児童登校	8:25																				
	朝の活動	8:30 ~ 8:45																				
	朝の会	8:45 ~ 8:55																				
	1校時	8:55 ~ 9:40				クラブ活動(4~6年) 月 15:10~16:00		・林間学校 ・引き渡し訓練 ・読書週間 ・音楽集会 ・プール開き ・授業参観、学年・学級懇談会														
	2校時	9:45 ~ 10:30																				
	フリータイム	10:30 ~ 10:55				委員会活動(5~6年) 月 15:10~16:00																
	3校時	11:00 ~ 11:45																				
	4校時	11:50 ~ 12:35				その他 家庭訪問、個別懇談等は、 特別日課を使う。																
	給食	12:35 ~ 13:20																				
	はみがき・昼休み	13:20 ~ 13:35																				
	清掃	13:35 ~ 13:55																				
	5校時	14:00 ~ 14:45																				
	6校時	14:50 ~ 15:35																				
帰りの会	15:35 ~ 15:50																					
児童下校	夏季 16:30 冬季 16:10																					
職員退勤	17:10																					
教 育 課 程	学年	教 科								道 徳	外 国 語 活 動	特 別 活 動	総 合	年 間 時 間 合 計	・読書週間 ・音楽集会 ・図工美術大会 ・スケート教室 ・個別懇談 3学期 ・スキー教室 ・書き初め大会 ・避難訓練 ・新入児保護者説明会 ・授業参観、学年・学級懇談会 ・防犯訓練 ・児童総会 ・6年生を送る会 ・卒業式							
		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭							体育						
		1	272		136		102	68	68								102	34		34		816
		2	280		175		105	70	70								105	35		35		875
		3	237	70	175	93		62	62								90	35		35	97	956
		4	237	85	175	105		62	62								90	35		35	105	991
		5	183	91	175	105		50	50							62	90	35	35	35	78	989
6	175	105	175	105		50	50	58	90	35	35	35	78	991								

田富北小学校

田富北小学校		所在地			電話		校長氏名		創立記念日													
		中央市臼井阿原1740-3			273-1760		山村 新一		6月10日													
学規 校模	学年	1	2	3	4	5	6		特別支援	合計												
	クラス数	2	3	2	2	2	2		1	14												
	児童生徒数	60	62	47	54	66	55		5	349												
学 校 経 営 の 重 点	学校教育目標 「人間性豊かなたくましい実践力のある子の育成」 ～よく学び よく遊び 明るく元気な やさしい子～ 学校経営の基本 学校は楽しい学びの場 学校は豊かな心と人間関係を育む場 学校は社会性を身につける場 学校は健康な身体をつくる場 学校は安心して暮らせる場 学校は地域と協力して活動する場 指導重点 【教科指導】 *基礎的・基本的な内容を確実に身につける *自己教育力の育成 *個性教育の推進 【道徳指導】 1 自分を育てる 2 共に生きる 3 生命を愛おしむ 4 社会をつくる 授業で道徳的価値について学び自覚を深め道徳的実践力を育成する 心のノートを活用する 【特別活動】 望ましい集団活動を通してよりよい生活を築いていこうとする自主的実践的な態度を育成する 【総合的な学習の時間】 *体験活動や問題解決的な学習をする *各教科で得た知識を結びつけ総合的に働かせていく *自己の生き方を考えることができるようにする																					
	特色 ある 教育 活動	年間を通じて ・明るく元気な「あいさつ運動」 ・楽しい毎日を自分たちで創る「学級活動」 ・落ち着きさわやか「朝の読書タイム」 ・みんな仲よく元気に動く「北小タイム」 ・みんな協力しあって美しい校舎「清掃活動」 ・みんなの自主性と集中力を高める「集会活動」 ・学ぶことへの興味を関心を広げる「おもしろ学習」 ・優しさと思いやりと尊敬の気持ちを育てる「たてわり活動」 ・地域の人々との交流ふれあい活動 (愛校・地域清掃活動、読み聞かせボランティア、子ども守り隊等) ・開かれた学校づくり「一日自由参観日・個別懇談・家庭訪問」 ・整った環境「ゴミ0、花いっぱい運動」の推進 ・コミュニケーションの楽しさを体験する「英語活動」																				
項目		曜日		月		金		曜日		備考		主な行事										
時 定 表	職員出勤				8:25								一学期									
	児童登校				8:25						・月曜日 朝の学級活動		・入学式									
	職員打合せ		8:25		～		8:40				・火曜日: おもしろ学習		・家庭訪問									
	朝の会		8:45		～		8:50				・水曜日: 集会・短学活		・修学旅行(6年)									
	1校時		8:55		～		9:40				・木曜日: 読書		・交通安全教室(1～3年)									
	2校時		9:45		～		10:30				・金曜日: 体力づくり		・生活科・社会科見学									
	休み時間		10:30		～		10:50						・児童引取り訓練									
	3校時		10:55		～		11:40				・金曜日: 終礼		・林間学校(5年)									
	4校時		11:45		～		12:30						・芸術鑑賞会									
	給食		12:30		～		13:20				・クラブ活動(年8回)		・一日自由参観日(音楽集会)									
	昼休み		13:20		～		13:27				設定日15:05～15:50		・個別懇談会									
	清掃		13:30		～		13:45				・委員会(年10回)		二学期									
	5校時		13:50		～		14:35				設定日15:05～15:50		・秋季大運動会									
	6校時		14:40		～		15:25						・陸上記録会(6年)									
帰りの会		15:30		～		15:45						・北小まつり										
児童下校		夏 16:30				冬 16:15						・一日自由参観日(道徳・音楽)										
職員退勤				17:10								・個別懇談会										
教 育 課 程	学年	教 科									道 徳	外 国 語 活 動	特 別 活 動	総 合	年 間 時 間 合 計	・生活科・社会科見学 ・秋の校外学習 三学期 ・書初め大会 ・児童会役員選挙 ・スキー教室 ・新入児童保護者説明会 ・学年別授業参観 ・6年生を送る会 ・卒業証書授与式						
		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育												
		1	272		136		102	68	68								102	34		34		816
		2	280		175		105	70	70								105	35		35		875
		3	235	70	175	90		60	60								90	35		35	95	945
		4	235	85	175	105		60	60								90	35		35	100	980
		5	180	90	175	105		50	50	60							90	35	35	35	75	980
6	175	100	175	105		50	50	55	90	35	35	35	75	980								

田富南小学校

田富南小学校		所在地			電話		校長氏名		創立記念日											
		中央市西花輪1250			273-9111		星野 孝大		10月20日											
学 校 規 模	学 年	1	2	3	4	5	6	合計												
	ク ラ ス 数	1	2	2	2	2	2	11												
	児 童 生 徒 数	36	47	28	50	43	38	242												
学 校 経 営 の 重 点	<p>〔校訓〕 「継続は力なり」 心力 体力 知力 信頼 安全</p> <p>学校教育目標 「豊かな心と たくましい体を持ち 主体的に学ぶ子」 一心・体・知を磨き自分を創る－</p> <p>具体的な目標 み みんなではげましあい 助け合える子 な なにごとにもたえられる たくましい心と体をつくる子 み みずから気づき 考え 正しく行動する子 つ つねに自分から学び 基礎学力や学び方を身につける子 こ こくさい感覚を身につけ 自分の考えをのびのびと主張できる子</p> <p>基本的な方針 学校教育目標と山梨県学校教育指導重点の具現化に努める 子ども一人ひとりの良さを見つけ 個性を尊重し それが発揮できる場作りに努める 教職員は想像と誠実さと和を基本とし、教職員それぞれが持つ特性を活かした教育に努める 学校・家庭・地域社会・関係機関との連携を密にし 互いに協力して子どもたちを育成する開かれた学校づくりに努める 教師としての責務を自覚し 服務は厳正に遂行しながら 教職専門性を高めるよう研修に努める</p>																			
特 色 あ る 教 育 活 動	<p>本物にふれる取り組み（その人の苦労や努力から生き方を学び、その成果として築き上げたすばらしい芸術文化に触れる中で、生きる力や人間性を高め、豊かな上層を育てるための取り組み） 縦割り活動の継続と重視（オリエンテーリング大会、1年生を迎える会、6年生を送る会、運動会、縦割り給食、縦割り体力づくり、縦割り清掃） さわやかタイムの取り組み（朝の20分間ドリル学習、読書の日、体力づくりの日、歌広場みなみの時間） 放課後スクールの実施（留守家庭の子どもを対象とし、宿題や読書などで1時間程度実施） 夏休みのサマースクール（教師の得意分野を活かした講座を開催） 国際理解教育の充実（国際理解集会の開催や外国料理を学ぶ会等の実施。本校各教育施設入り口への外国語の表示） 食育の充実（毎日の給食の放送を通して、その日の食材の紹介と栄養素についての話、食文化や伝統食の話など食生活をより豊かなものにしていく取り組み）</p>																			
項 目	曜 日	平 常 日 課							備 考	主 な 行 事										
時 定 表	職員出勤	8:25							年間を通して 朝の会、3校時の始まり清掃の始まりの3回以外ノーチャイム さわやかタイム(毎日) 8:25~8:45 放課後スクール (1・2年対象) 15:00~16:00 (火・木曜日のみ)	年間を通して ・さわやかタイム(ドリル学習、体力づくり、歌広場みなみ集会等) ・縦割り清掃 1学期 ・1年生を迎える会 ・交通安全教室 (1・3年) ・オリエンテーリング大会 ・芸術鑑賞教室 ・心肺蘇生法講習会 ・不審者対応避難訓練 ・漁村体験学習 ・PTA親子清掃 2学期 ・夏休み作品展 ・引き渡し訓練 ・運動会 ・PTAバザー ・修学旅行 ・国際理解集会 ・焼きいも集会 ・就学時検診 3学期 ・書き初め大会 ・スキー教室 ・1/2成人式 ・職業体験学習 ・卒業証書授与式 ・修了式										
	児童登校	8:25																		
	職員打合せ	8:25~8:40																		
	朝の会	8:45~9:00																		
	1校時	9:00~9:45																		
	2校時	9:50~10:35																		
	3校時	10:55~11:40																		
	4校時	11:45~12:30																		
	昼食	12:30~13:20																		
	昼休み	13:20~13:35																		
	清掃	13:35~13:55																		
	5校時	14:00~14:45																		
	6校時	14:50~15:35																		
	帰りの会	15:35~15:50																		
児童下校	16:00																			
職員退勤	17:10																			
教 育 課 程	学 年	教 科									道 徳	外 国 語 活 動	特 別 活 動	総 合	年 間 時 間 合 計					
		国	社	算	理	生	音	図	家	体										
		語	会	数	科	活	楽	工	庭	育										
		1	272	136		102	68	68		102						34		34	816	
		2	280	175		105	70	70		105						35		35	875	
		3	235	70	175	90		60	60	90						35		35	95	945
		4	235	85	175	105		60	60	90						35		35	100	980
5	180	90	175	105		50	50	60	90	35	35	35	75	980						
6	175	100	175	105		50	50	55	90	35	35	35	75	980						

豊富小学校

豊富小学校		所在地			電話		校長氏名		創立記念日											
豊富小学校		中央市大鳥居3800-1			269-2012 FAX269-2035		萩原 弘		11月25日											
学 校 規 模	学 年	1	2	3	4	5	6	合計												
	ク ラ ス 数	2	1	1	1	2	2	9												
	児 童 生 徒 数	40	32	33	41	41	51	238												
学 校 経 営 の 重 点	<p>中央市の教育の基本 まごころ 生きる力をはぐくむ教育(生) 命を大切に教育(命) 信頼しあう教育(信)</p> <p>1 学校経営の基本方針 児童一人一人が「学校へ来てよかった。また、明日も来よう。」と、心から思える学校をめざす。</p> <p>2 学校教育目標 「心豊かに、かしこく たくましく生きる子どもの育成」</p> <p>3 具体的教育目標 (1)めざす子ども像 (知)進んで学び、深く考える子ども (徳)感性豊かで、思いやれる子ども (体)命を大切に、がんばる子ども (2)めざす学校像 活力のある学校【子どもたちがいきいきしている学校】 教育力のある学校【磨きあい、実践力の高い学校】 温かみのある学校【子どもを第一に考える学校】 家庭や地域との連携を推進する学校【保護者や地域の期待に応える学校】 (3)めざす教師像 情熱と使命感あふれる教師 絶えず研修と修養に努める教師 子どもや保護者に厚い信頼をうける教師 (4)本年度の努力目標 確かな学力の育成に努める 豊かな心の育成に努める 健康な生活習慣の定着に努め、進んで運動に親しむ態度を育てる。 安全な児童の学校生活確保に努める 積極的な情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進する。</p>																			
	特色ある教育活動	<p>健康教育の推進 ・外部講師(校医)を招いての保健学習の実施。(各学級での保健指導・全校での保健集会を保護者に公開) ・PTA全体として、「健康三原則の実施」に各学年ごと取り組む。(地区懇談会での情報交換) ・学校保健委員会において、本校の保健・健康面の課題について、教職員が直接校医先生から指導を受ける。 地域に根ざした教育の推進 ・各地区ごとに「教育を語る会」(地区懇談会)を実施し、学校の課題解決に生かす。 ・「豊富オリエンテーリング集会」を実施し、児童が楽しみながら地域理解を深める。 ・運動会へ高齢者を招待したり、劇の発表会に一人暮らしの高齢者を招き、交流を進める。 音読教育の推進 ・各学期ごと、音読集会を実施し、全校課題・学年課題に取り組む。 ・11月の土曜参観日には、「音読発表集会」を実施し、取り組みの成果を保護者及び祖父母に披露する。</p>																		
項 目	曜 日	月～金				備 考			主 な 行 事											
時 定 表	職 員 出 勤	8:20				朝の活動			年間を通して ・登校指導 ・あいさつ運動 ・ゴミゼロ運動 ・朝学習 ・朝読書 ・音読への取り組み ・縦割り遊び(児童会) 1学期 ・入学式 ・1年生を迎える会 ・避難訓練 ・修学旅行(6年) ・球技大会(6年) ・林間学校(5年) ・給食試食会 ・引き渡し訓練 ・保健学習公開 ・救急法学習会 2学期 ・秋季大運動会 ・秋の遠足(1～4年) ・給食試食会 ・陸上記録会(6年) ・豊富オリエンテーリング集会 ・音読発表集会 ・図工美術大会 ・読書週間 3学期 ・スキー教室 ・書き初め大会 ・児童会役員選挙 ・6年生を送る会 ・卒業式											
	児 童 登 校	8:20				(月)朝の学習・音読集会														
	朝 の 活 動	8:25～8:40				(火)全校読書														
	朝 の 会	8:40～8:55				(水)全校読書														
	1 校 時	8:55～9:40				(木)児童会・学校集会														
	2 校 時	9:45～10:30				(金)朝の学習														
	3 校 時	10:55～11:40				委員会活動・クラブ活動 (水)15:05～15:50														
	4 校 時	11:45～12:30				代表委員会 (中休み)10:30～10:50														
	昼 食	12:30～13:05				職員会議・校内研究会 (月)15:30～17:05														
	歯 磨 き ・ 清 掃	13:05～13:35																		
	昼 休 み	13:35～13:50																		
	5 校 時	13:55～14:40																		
	6 校 時	14:45～15:30																		
	帰 り の 会	15:30～15:45																		
児 童 下 校	16:30【3月～10月】		16:15【11月～2月】																	
職 員 打 合 せ	月16:45		水16:45		金16:45															
職 員 退 勤	17:05																			
教 育 課 程	学 年	教 科										外 国 語 活 動	特 別 活 動	総 合	年 間 時 間 合 計					
		国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 工	家 庭 育 成	体 育	道 徳									
		1	272		136		102	68	68		102					34		34		816
		2	280		175		105	70	70		105					35		35		875
		3	235	70	175	90		60	60		90					35		35	95	945
		4	235	85	175	105		60	60		90					35		35	100	980
		5	180	90	175	105		50	50	60	90					35	35	35	75	980
6	175	100	175	105		50	50	55	90	35	35	35	75	980						

(2) 中学校

玉穂中学校(含下河東分校)

玉穂中学校		所在地			電話		校長氏名		創立記念日										
		山梨県中央市下河東180			273-8211		松村正広		2月7日										
学 校 規 模	学 年	1	2	3	合 計														
	ク ラ ス 数	5	3	3	11														
	児 童 生 徒 数	145	115	81	341														
学 校 経 営 の 重 点	<p>校訓 『克己創造』</p> <p>教育目標 『自主的で心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成』</p> <p>【めざす生徒像】 『真理を探究し自ら輝く生徒』</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自ら学ぶ生徒 (知) ◆心豊かな生徒 (情) ◆よく働く生徒 (意) ◆体を鍛える生徒 (体) <p>【めざす教師像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆一人一人の生徒を大事にする教師 ◆自ら研修し、より良い実践に励む教師 ◆互いに和を求め、信頼し協力し合う教師 ◆生徒とともに行動し、生徒理解に努める教師 ◆心身ともに健康な教師 <p>【学校経営方針】</p> <p>学校教育にとって大切な教育課題は、子供達に知的な力を身につけさせることである。知的な成長を促し、知性や理性をもって自立した人間に育っていかせるようにすることである。すなわち実社会の中で「生きていく力」を育てるとともに、自分自身を大切に、自分らしく「生きていく力」を身につけさせることである。そこで、新学習指導要領の趣旨並びに山梨県学校教育指導重点、中央市の教育の基本を踏まえた特色ある教育課程を編成し、一人一人の生徒が「知」「徳」「体」のバランスのとれた人間性豊かで、主体性に富んだ、心身ともに優れた人間として成長出来るよう教育活動を展開していきたい。又、職員の資質能力の向上に努め、協働指導体制を構築し、説明責任を果たすことで、保護者及び地域の理解・協力を得、教育活動が効果的に実施出来るよう努めていきたい。</p>				<p>下河東分校経営方針(院内学級)</p> <p>(1) 分校(病弱学級)の教育目標</p> <p>「つまずき(病気やけが)を乗り越えて行く生徒の育成」</p> <p>明るく病気やけがに負けない子 根気強く努力する子 感謝の心を持って協力し合える子</p> <p>(2) 指導の重点</p> <p>原則的には、学習指導要領に準拠した学習内容を指導目標とするが、治療・療養を中心とした生活になるため、治療を優先し無理のない学習指導を行う。(年間指導計画は本校に準じ、一部の学習内容について分校独自で作成)</p> <p>分校の生徒が幅広い教育を受けられるようにするために、本校の教師が分校の教育に関わるようにする。また、複式学級の充実と個別学習の徹底により、学習空白を補い自主的学習の推進と基礎学力の向上に努める。院内学級連絡会議を通して、治療計画や体調を把握し各々の状況をよく理解した上できめ細かい指導を行う。</p> <p>院内生活の規律と人間関係の円滑化や療養生活による精神的不安の軽減を図るために、自立活動をはじめ、小中合同の行事や飼育栽培等を通して情操教育の強化を図る。</p> <p>学期末には学習連絡表を作成し、可能な範囲での評価及び所見の記載を行い、生徒が取り組んだ事への励みとなるようにする。</p>														
	特色ある教育活動	<p>福祉教育</p> <p>本校周辺には、徒歩で数分の位置に、保育園、ホスピス診療所、特別養護介護施設が数カ所点在している。また、それらの施設への福祉交流体験活動を数年前から学年学級や部活動、委員会活動でも行っている。</p> <p>山梨大学医学部との交流学習</p> <p>山梨医科大学設立当時より、医学部の学生や外国からの留学生との交流を行っている。</p> <p>教科学習の充実</p> <p>各教科の指導にあたっては、生徒一人一人が学習内容を確実に身に付けることが出来るよう、個別学習やグループ学習、習熟の程度に応じた学習や補充・発展的学習等、指導方法や指導体制の工夫改善に努めている。</p> <p>朝読書</p> <p>図書委員会が中心になって全校生徒で取り組んでいる。読書の好きな生徒の育成とともに、落ち着いた雰囲気の中で、一日のスタートを切ることで、学習への意欲付けになるだけでなく生徒指導の面においても有効である。</p>																	
時 定 表	曜 日		備 考								主 な 行 事								
	職員出勤	8:15	水、木曜日は5時間授業								【1学期】								
時 定 表	生徒登校	8:20	清掃 14:20~14:40								入学式								
	職員打合せ	8:15	帰りの会 14:40~15:00								修学旅行(3年)								
	朝の会	8:25	完全下校								ふるさと探訪(2年)								
	1校時	8:40~9:30	4~9月 18:00								中巨摩選手権大会								
	2校時	9:40~10:30	10月 17:30								PTA総会								
	3校時	10:40~11:30	11月 17:00								家庭訪問								
	4校時	11:40~12:30	12月 16:30								生徒総会								
	昼食	12:30~13:15	1~2月 17:00								芸術鑑賞教室								
	昼休み	13:15~13:30	3月 17:30								中間テスト								
	5校時	13:30~14:20	日没時間で判断								宿泊学習(1年)								
	6校時	14:30~15:20									中巨摩総合体育大会								
	清掃	15:20~15:40									合唱発表会								
	帰りの会	15:40~16:00									期末テスト								
	生徒下校	17:00									登山(2年)								
職員退勤	17:00									三者懇談									
教 育 課 程	教 科											道 徳	特 別 活 動	総 合	年 間 時 間 合 計				
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体	技 術	英 語	選 択									
	1	140	105	140	105	45	45	90	70	105	0					35	35	65	980
	2	105	105	105	105	35	35	90	70	105	85					35	35	70	980
3	105	85	105	105	35	35	90	70	105	140	35	35	70	980					
<p>【2学期】</p> <p>防災避難訓練</p> <p>学園祭(2日間)</p> <p>中巨摩新人大会</p> <p>中間テスト</p> <p>校内強歩大会</p> <p>期末テスト</p> <p>合唱コンクール</p> <p>防災避難訓練</p> <p>三者懇談</p> <p>【3学期】</p> <p>公立高校前期入試</p> <p>学級懇談会(1.2年)</p> <p>新入生説明会</p> <p>期末テスト</p> <p>3年生に贈る会</p> <p>PTA学年部会</p> <p>公立高校後期入試</p> <p>卒業式</p> <p>終了式</p> <p>離任式</p>																			

4 社会教育の現状

「社会教育」とは、社会において行われる教育のことで、「生涯教育」、「生涯学習」を同義語として使う場合も多く、近年、「社会教育課」を、「生涯教育課」、「生涯学習課」等とする自治体が増えている。ちなみに中央市は「生涯教育課」としている。

昭和24年に制定された、現行社会教育法（第2条）では、「社会教育とは、学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）をいう」と明記している。

本計画ではこれに則り、本市の生涯教育課で所掌する社会教育、社会体育、文化財保護等、学校以外で行われているすべての事業を社会教育とする。

以下、「中央市社会教育計画」により、その現状を記す。

（1）中央市の社会教育の現状（平成21年度）

<方針>

人格の完成をめざし、心身共に健康な市民の育成を期し、中央市の教育の基本である「まごころ」を掲げ、生きる力をはぐくむ教育、命を大切にする教育、信頼しあう教育を推進する。また、家庭、地域、学校、関係機関が相互に連携、協力し一体となって心の教育を推進する。

情報化、国際化、産業構造の複雑に変化する社会環境の中にあって、市民一人一人が様々な生活課題に応じて自己の充実・啓発や生活向上のため、自らが学習する意欲と能力を養う学習機会の提供、指導者の育成、多様な学習要求に応えるための施設の整備、大学等の各種教育機関との連携など社会教育推進のための支援をしていく。

<目標>

1．社会教育の振興

市民がいつでも誰でも参加できる学習機会の提供と自主的、主体的な学習活動を支援していく。地域の特性を活かした活力のある地域づくりを推進するため、自らの発意と努力により社会教育に資する活動が展開できるよう、社会教育団体やボランティアグループ等の育成に努める。

2．家庭教育の推進

家庭は、全ての教育の出発点であり、子供の基本的な性格を形成する上で重要である。子供たちへの命を大切にする心、人を思いやる心の教育を各教育機関と連携をとりながら親のあり方について認識を深める家庭教育の推進を図る。

また、親子で参加する学習機会の提供など、家族のコミュニケーションを深める家庭教育事業を推進する。

3．青少年教育の推進

次代の担い手である青少年が健やかで、他人を思いやる心を育て、社会性や道徳性等、豊かな人間性を培うことができるよう、青少年育成市民会議を中心に地域社会及び青少年健全育成のための関係機関との連携、協調を基本とした青少年教育を推進する。

4．成人教育の推進

成人期は、生涯のなかでも長い期間を占めている社会的に最も貢献できる時期であり、それぞれ

の立場で責任と役割を果たすことが求められている。人間として豊かに生き、連帯感を高めることを目的に成人を対象とした生涯学習や社会参加に向けた講座等年代や生活実態に見合った成人教育を推進する。

5．高齢者教育の推進

急速に進む高齢化社会において、高齢者の生きがいくつりと健康維持活動の推進、積極的な社会参加を支援するための学習機会を提供する。また習得した知識・技術や幅広い経験を生かし、ボランティア活動を始めとする地域における活動へ積極的に参加し、他の世代と高齢者がふれあう世代を超えた交流事業を通して、思いやりの心など豊かな人間性を育む機会の充実を図る。

6．芸術文化活動の推進と文化財保護・活用

文化と教養のある豊かな文化都市実現のため、多様な文化情報に触れることのできる環境の充実と心を豊かにする学習活動の展開を図る。

文化財保護思想の普及、高揚を図り文化財や歴史的遺産と風土を活かしたまちづくりと郷土芸能の伝承活動を推進する。

7．公民館活動の推進

地域の交流やふれあいの場として、人間関係を深めながら郷土を愛する心を育て地域の活性化及び地域づくりのための公民館活動を推進すると共に、時代の変化による市民の新しいニーズに対応した学習機会の拡充に努める。社会教育に関する団体や教養グループ、趣味サークルなど自主的な活動ができるように育成と支援を行う。

8．図書館活動の推進

中央市子ども読書活動推進計画に基づき、家庭、地域、学校、市立図書館が一丸となり子どもの読書環境を整えると共に主体的、意欲的に読書活動が展開できるようブックスタート及び新入生ブックプレゼント事業を推進する。

生涯学習活動を支援する中核的施設としての市立図書館、生涯学習館の活用を促進し、ネットワークの拡充を図り資料の充実及び利用者サービスの向上に努める。図書の貸出し業務に留まらず、各種講座、講演会、展示、幼児・児童を対象としたイベント等の活動を推進する。

9．生涯スポーツの推進

生涯の各時期に対応したスポーツ活動の機会を拡充するために、体育協会を中心とした各団体、スポーツ少年団等の主体的な運営をはば広く支援するとともに、関係諸機関との連携を図り、スポーツに親しむことのできる生涯スポーツを推進する。

学校施設の有効活用によるスポーツ振興を図るため、施設の整備を推進する。

< 事業計画 >

家庭教育

事業名	実施時期	内容
親子陶芸教室	年間 (月2回)	親子を対象に物作りの一つとして陶芸教室を開催し親子のふれあいや子どもたちの忍耐力を養う。
親子で拓く農業体験事業	年間 (月2回)	遊休農地を利用し、野菜や花等を作り親子の交流を図るとともに収穫した野菜を使っての料理学習を実施する。
夏休み子ども映画会	8月 (6回)	夏休みに小学生親子を対象に映画鑑賞会を行なう。
親子凧づくり教室	12月	凧づくりを親子で体験します。

青少年教育

事業名	実施時期	内容
青少年育成市民会議	年間	市内各機関団体と協力して、青少年の健全育成を図る。
キッズアカデミー	年間 (月1回)	年会員になってもらい、体験活動を子どもたちが計画し活動を行う。
放課後子どもプラン (放課後子ども教室)	年間 (毎週土曜日)	子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、スポーツ活動、地域住民との交流活動を進める。
子どもクラブ親睦球技大会	8月2日	男子 ソフトボール 女子 ミニソフトバレーボール
家庭の日・青少年を育む日 作品募集	8月	児童生徒を対象に家庭の日・青少年を育む日をテーマにした作品募集を行う。
青少年健全育成推進大会	11月20日	青少年育成関係者研修・家庭の日入選作品表彰を行う。
成人式	1月10日	新成人を祝う式典、アトラクション、記念写真撮影を行う。

成人教育

事業名	実施時期	内容
気功教室	5～7月 (10回)	気を養い、体内に巡らせることによる心身の健康法を学ぶ教室。
ヨガ教室	6～8月 (8回)	精神を統一し、心・気・体の調和を図る健康法を学ぶ教室。
筆ペン教室	7・8月 (5回)	手軽な筆ペンを用いて正しい筆使いを学び、実用に役立つ。

太極拳教室（１回目）	９～１０月 （７回）	初心者歓迎。ゆったりとした動作で心身共にリラックス。
パソコン教室（３教室） 一教室（６回）	８～１０月	初・中級者を対象としたパソコンの基本的な操作の習得。
ふるさとウォーキング	９月・３月	郷土の歴史（文化財）に焦点をあて、ゆっくり歩きながら史跡について見聞を広める。
二胡教室	１１～１２月 （８回）	中国の伝統楽器である二胡の演奏方法を基礎から学びます。
太極拳教室（２回目）	１～２月 （７回）	太極拳のゆったりとした動作で心身共にリラックス。

高 齢 者 教 育

事業名	実施時期	内 容
中央市まごころ学園 （玉穂学級） （田富学級） （豊富学級）	年間 （月１回）	高齢者に、定期的な学習機会を提供し、生きがいの充実を図る。 開・閉校式は合同で行い、開催方法は学級ごとに計画し開催する。

芸術文化活動・文化財保護

事業名	実施時期	内 容
埋蔵文化財調査事業	年間	埋蔵文化財試掘・発掘調査事業
文化財管理補助	年間	国指定・市指定文化財への管理補助
粘土節保存会総会	４月	定期総会
文化協会総会	５月	定期総会
粘土節保存会福祉施設慰問	７月	福祉施設へ慰問し粘土節の披露
文化祭	１０月３１日 １１月 １日	文化協会専門部・一般市民の作品展示 芸能発表
文化講演会	１１月	各界で活躍中の著名人を招く講演会。
粘土節保存会研修会		県内外の郷土芸能の研修。
文化協会機関誌発行	３月	協会の活動内容等を紹介する。
文化協会研修会	３月	文化施設等の研修を行い、文化協会活動の活性化と会員の資質向上を図る。

公 民 館 活 動

事業名	実施時期	内 容
豊富地区分館活動	年間	分館活動を通し地域の活性化を推進。
花いっぱい運動	7月	分館ごとに花の植付けを行なう。

生涯スポーツ活動

事業名	実施時期	内 容
アクアフィットネス教室	5～7月 9月	水中トレーニングとダンスでシェイプアップ。
水泳教室	6～7月	水に慣れ、泳ぎの基礎を身につける。
ラジオ体操教室	7月	夏休みにむけてラジオ体操の基本を学ぶ会。
ゴルフ大会	5月 10月	市民の親睦を深めるゴルフ大会。
ボウリング教室	7月～8月	市民を対象とした、全6回のボウリング教室。
市民ボウリング大会	3月	市民の親睦を深めるボウリング大会。
自治会対抗球技大会	9月 10月	自治会対抗によるソフトボール、バレーボール、ソフトバレーボール、ゲートボール大会。
弓道大会	9月	浅利与一義成公顕彰弓道大会。
女性スポーツ教室	10～11月	女性を対象にした健康体操教室。
自治会対抗グラウンドゴルフ大会	11月	市民を対象に、親睦を深めるグラウンドゴルフ大会。
ウォーキング大会	11月	健康作りのウォーキング。
フットサル大会	1月	市民を対象としたフットサル大会。
スキー教室	2月	雪に親しみ、スキー技術の向上を図る。

図 書 館 活 動

(田富図書館)

事業名	実施時期	内 容
油彩絵画展	4月～5月	油彩絵画展示
スクリーン紙芝居&ゆかいな腹話術	5月	子どもの日にちなんだ、ハイテク紙芝居と腹話術。
図書館まつり あんど わい わいひろば	6月	幼児から児童を対象にボランティアグループによる大型紙芝居などを使ったお話、楽しい工作づくり。
朗読発表会	7月	ボランティアによる文学作品等の朗読

夏休みお楽しみ会	7月 8月	英語の絵本の読み聞かせ、マンガ展、ビデオ上映会、ボランティアグループによる人形劇やパネルシアター。
赤ちゃんとお母さんのための絵本講座	9月	乳幼児を持つお母さん、これから子育てをするお母さんを対象に絵本の読み聞かせの講習会。
朗読講習会	10月	子どもの読書活動に係わる人を対象とした読み聞かせの講習会。
ブックリサイクル	11月	図書館で廃棄処理した一般書、雑誌等を来館者へ無料で配布するイベント。
読み聞かせ講座		子どもの読書活動に係わる人を対象とした読み聞かせの講習会。
ちょっと気の早いクリスマス会	12月 6日	親子でひとあし早いクリスマスを楽しむ会。
子ども向けイベント	1月	子どもを対象としたイベント。
美術展	2月	未定。
コンサート	3月	田富中合唱部発表会。
芸術鑑賞・展示会	随時	文化的、芸術的な作品をギャラリーに展示。
定例活動	第3火曜日 第3土曜日	職員とボランティアサークルによる、おはなしタイム。

(玉穂生涯学習館)

事業名	実施時期	内容
子どもの読書週間	4月	「山梨子どもに勧めたい本編集委員会」で作成したリストの本100冊を展示及び家庭でのお薦め本の掲示。
新入生ブックプレゼント	5月	市内小学校に入学した新1年生全員に本を1冊プレゼントする。 中央市立図書館としての事業
文学教養講座	6月	作家を講師招き講演
おはなしカーニバル	7月	図書館ボランティアと学習館職員によるお話し会、大型紙芝居、朗読劇。
夏休み親子てづくり絵本教室	7・8月	親子で自分たちだけのオリジナル絵本をつくる。
児童文学講座	9月	児童文学作家を講師に講演。
ふるさと文学散歩	10月	山梨県内文学ゆかりの地を散策。

がくしゅうかんまつり ブックリサイクル	11月	学習館で廃棄処理した一般書、雑誌等を来館者へ無料で配布。
手作り絵本の展示	〃	夏休み親子手作り絵本教室で作成した本の展示。
工作教室	11月	学習工作の実施。
おりがみ教室	11月	さまざまな折り紙の指導。
消しゴムはんこ教室	11月	学習館職員の指導による消しゴムはんこづくり。
朗読会	11月	朗読サークル「ごらくとんぼ」による朗読会。
クリスマス会	12月	おはなしでてこいのクリスマスバージョン。
新春琴の調べ	1月	新春の開館にあわせ、琴の演奏で利用者を迎える。

(2) 生涯教育課の所管施設

社会教育施設

施設名	施設内容	所在地	電話番号
玉穂生涯学習館	開架コーナー AVコーナー 郷土資料室 対面朗読室 ロビー 閉架書庫 事務室 第一研修室 第二研修室 読書室 視聴覚ホール	下河東1 - 1	230-7300
豊富図書館 (分館)	読み聞かせコーナー	大鳥居3866	269-4011
田富図書館	一般・児童・幼児コーナー ブラウジングコーナー AVコーナー 郷土資料館 視聴覚室 展示ギャラリー 閉架書庫 事務室	臼井阿原240 - 1	274-3311
豊富郷土資料館	展示室 4 箇所 展示コーナー ハイビジョンシアター	大鳥居1619 - 1	269-3399
田富中央公民館 (女性ふれあいセンター)	大ホール 会議室 視聴覚室 和室 調理室	布施1555	なし
豊富中央公民館	第一研修室 第二研修室 婦人老人室 調理実習室 図書室 大ホール 和会議室 第三研修室 第四研修室	大鳥居3800	269-2802

社会体育施設

施設名	施設内容	所在地	電話番号
玉穂市民体育館	アリーナ (782.50㎡) 卓球場 (127.82㎡)	成島2140 - 4	なし
玉穂B & G海洋センター	大人用プール25m・6コース 幼児・低学年用プール	下河東256	274-1121
田富市民体育館	アリーナ (946.00㎡) 事務室 更衣室 用具室	臼井阿原1740	273-1473
田富市民プール	大人用プール25×15m・7コース 子供用プール10×5m 事務室 更衣室 用具室	臼井阿原1740	274-1421
与一弓道場	弓道 (10人立)	大鳥居1529 - 1	269-2732
浅利弓道場	弓道 (5人立)	浅利2974 - 1	なし
浅利テニスコート	テニスコート2面	浅利3047 - 1	なし
農業者トレーニングセンター	第一アリーナ (600.00㎡) (バレー・バドミントン) 第二アリーナ (108.00㎡) (剣道・柔道)	大鳥居3749 - 1	なし
玉穂ふるさとふれあい広場	多目的広場 (11,500.00㎡) (ソフトボール・サッカー・野球・グラウンドゴルフ・テニスコート・ゲートボール場)	乙黒1 - 1	274-7070
田富ふるさと公園	敷地面積 (10,293.00㎡) 多目的広場 (サッカー・グラウンドゴルフ)	臼井阿原1740	なし
豊富農村広場	多目的広場 (7,950.00㎡) (ソフトボール・野球・グラウンドゴルフ・ゲートボール)	大鳥居3877	なし
農村公園	多目的広場 (9,774.00㎡) (ソフトボール・サッカー・グラウンドゴルフ・ゲートボール)	関原1018	なし

参考資料 < 玉穂生涯学習館の現状 >

玉穂生涯学習館		所在地			電話			開設日		
		中央市下河東1-1			230-7300			平成10年11月		
		敷地面積			延床面積			構造		
		6,063㎡			2,223㎡(うち図書館部分 932㎡)			鉄筋コンクリート 2階建て(一部鉄骨)		
施設内容	1階	ロビー	開架コーナー	AVコーナー	地域資料室	対面朗読室	開架書庫	事務室	その他	
		186㎡	681㎡	57㎡	28㎡	7㎡	85㎡	97㎡	320㎡	
2階	第1研修室	第2研修室	読書室	視聴覚ホール	その他					
	87㎡(35席)	71㎡(24席)	74㎡(44席)	258㎡(204席)	272㎡					
職員構成	館長	正規職員	臨時職員	アルバイト	シルバー人材	シルバー人材				
	1名	3名(司書1名)	4名(司書4名)	7名	清掃2名	物流2名(交代制)				
開館時間	火・水・木・金 午前10時～午後7時			土・日 午前10時～午後5時						
	2階 視聴覚ホール・第1研修室・第2研修室			火・水・木・金・土 午前10時～午後10時			日 午前10時～午後5時			
閉館日	月曜日、祝日(5/5、11/3を除く)、館内整理日、職員研修日(6月)、特別整理期間(9月)、年末年始									
運営方針	1 基本方針									
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民の知る権利を保障する図書館。 (2) すべての市民の暮らしに役立ち、暮らしを高める図書館。 (3) 市民の誰もが気軽に利用できる親しみやすい図書館。 (4) 未来を担う子どもに、夢と希望を与える図書館。 (5) 市民とともに育ち、市民が育てる図書館。 (6) 市民の文化活動の機会や場を提供する図書館。 									
	2 活動方針									
運営方針	(1) 図書館の利用拡大									
	<ul style="list-style-type: none"> ① 全ての市民が気軽に図書館を利用して、生涯学習ができるように配慮する。 ② 市民の課題解決のためのレファレンス・サービスの充実を図る。 ③ 相互貸借、予約などカウンターサービスを充実する。 ④ インターネット等の活用による情報提供サービスの充実を図る。 ⑤ 広報やホームページを活用し、新資料の紹介、図書館の事業や活動等の情報を提供する。 ⑥ 高齢者・障害者へのサービスの充実を図る。 ⑦ 外国人等へのサービスの充実を図る。 									
	(2) 児童サービスの提供									
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ① 「ブックスタート」・「新入生ブックプレゼント」事業を継続実施するとともに、そのフォローアップを図る。 ② 乳幼児からのおはなし会の充実を図るとともに、保育園児や幼稚園児への読み聞かせサービスを進める。 ③ 学校の調べ学習等に対応するため、小中学校と連携を深めつつ、子どもの学習支援体制の強化を図る。 									
	(3) 資料の収集・整理									
	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の求める情報や最新情報を提供するため、選書の充実を図る。 ② 地域資料の収集・充実に努める。 									
運営方針	(4) 図書館ボランティアとの連携協力									
	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者へのよりよいサービスを目指して、乳幼児へのおはなし会、小中学校への朝読書等への参加・協力を促進する。 ② 図書館の事業等への参加・協力を促進する。 ③ ボランティア養成のための研修の実施に努める。 									
	3 その他									
(1) 中央市司書会の充実										
<ul style="list-style-type: none"> ① 市内小中学校と市立各図書館の連携を密にし、ネットワークの円滑な運用を図り、資料の検索・貸出を推進する。 ② 中央市司書会の充実を図り、情報交換や研修の場とする。 										
(2) 職員の資質の向上										
① 専門職としての職員の研修の機会を確保する。										
統計	図書	蔵書点数		貸出点数		主	4月	子ども読書週間	定	第1土曜、第3日曜
		一般	76,205	117,538	6月		文学教養講座	おはなしでてこい		
	児童	29,916	65,656	7月	おはなしカーニバル	第1水曜、第3水曜				
	合計	106,121	183,194	8月	夏休み親子手づくり絵本教室	おひゃいおはなしかい				
	雑誌	7,298	13,237	9月	夏休み親子手づくり絵本教室	7月、11月、3月				
	ビデオ	1,864	11,254	10月	児童文学講座	朗読会「夢舎」				
	DVD	1,087	8,746	10月	文学教養講座	随時				
	CD	2,423	9,097	10月	ふるさと文学散歩	ロビーへの展示				
	L D	255		11月	がくしゅうかんまつり	山梨大学医学部附属病院への貸出				
	その他	50	5	11月	ブックリサイクル	小児科病棟へ毎月1回				
計	合計	119,098	225,533	11月	手づくり絵本の展示	外来(小児科・耳鼻科)へ隔月				
	登録者数	利用人数	貸出数	11月	工作教室	(H21年度事業)				
玉穂	3,877	20,647	89,006	11月	おりがみ教室					
田富	3,782	5,798	26,596	11月	消しゴムはんこ教室					
豊富	881	2,475	11,819	11月	朗読会					
市外	6,806	19,455	98,112	12月	おはなしでてこいのクリスマス会					
合計	15,946	48,375	225,533	1月	新春琴の調べ					

(数値はH21.4.1現在)

豊富分館

豊富図書館(分館)	所在地		電話		開設日			
	中央市大鳥居3866(豊富庁舎内)		269-4011		平成19年4月			
	敷地面積	延床面積	構造					
	豊富庁舎内	80㎡	鉄筋コンクリート					
職員構成	館長	正規職員	臨時職員	アルバイト	民間派遣	シルバー人材		
	学習館館長兼務		1名(司書1名)			物流2名(交代制)		
開館時間	月・火・水・木・土・日 午前10時～午後5時(午後1時～2時を除く)							
閉館日	金曜日、祝日(5/5・11/3を除く)、館内整理日、職員研修日(6月)、特別整理期間(9月)、年末年始							
運営方針	運営方針は、玉穂生涯学習館に準ずる。							
	利用者開放インターネット、検索用タッチパネル、物流及び予約システムも設置してあるので、規模は小さいが、市内他2館と同等の機能を有している。							
統計		蔵書点数	貸出点数		登録者数	利用人数	貸出数	
	図書	一般	6,407	2,824	豊富	881	1,918	7,642
		児童	5,355	5,962	玉穂	3,782	279	533
		合計	11,762	8,786	田富	3,877	51	163
	雑誌	398	376	市外	6,806	314	824	
	ビデオ			合計	15,346	2,562	9,162	
	DVD			(数値はH21.4.1現在)				
	CD			定例事業	第4土曜 おはなしかい「モモ」			
	LD							
	その他							
合計	12,160	9,162						

< 田富図書館の現状 >

田 富 図 書 館		所 在 地		電 話		開 設 日				
		中央市臼井阿原240-1		274-3311		平成7年7月				
		敷 地 面 積	延 床 面 積	構 造						
		3,107㎡	1,167㎡	鉄筋コンクリート 平屋建て(一部鉄骨)						
施 設 内 容	開 架 コ ー ナ ー	AV コ ー ナ ー	地 域 資 料 室	対 面 朗 読 室	開 架 書 庫					
	454㎡	24㎡	29㎡	6㎡	80㎡					
	展 示 ギ ャ ラ リ ー	視 聴 覧 室	事 務 室	そ の 他	ブ ラ ウ ジ ン グ コ ー ナ ー					
		61㎡	100㎡	63㎡	326㎡	24㎡				
職 員 構 成	館 長	正 規 職 員	臨 時 職 員	ア ル バ イ ト	民 間 派 遣	シ ル バ ー 人 材				
	1 名	2 名 (司 書 1 名)	3 名 (司 書 3 名)	5 名	清 掃 1 名	物 流 2 名 (交 代 制)				
開 館 時 間	火・木・土・日 午前10時～午後5時		水・金 午前10時～午後7時							
閉 館 日	月曜日、祝日の翌日、館内整理日、職員研修日(6月)、特別整理期間(9月)、年末年始									
運 営 方 針	モットー「Smile and Smile」									
	(1) 基本方針									
	① 市民の知る権利を保障する図書館									
	② すべての市民の暮らしに役立ち、暮らしを高める図書館									
	③ 市民の誰もが気軽に利用できる親しみやすい図書館									
	④ 未来を担う子どもに、夢と希望を与える図書館									
	⑤ 市民とともに育ち、市民が育てる図書館									
	⑥ 市民の文化活動の機会や場を提供する図書館									
	(2) 活動方針									
	① 図書館の利用拡大									
・すべての市民が気軽に図書館を利用して、生涯学習ができるように配慮する。										
・市民の課題解決のためのレファレンス・サービスの充実を図る。										
・相互貸借、予約などカウンターサービスを充実する。										
・インターネット等の活用による情報提供サービスの充実を図る。										
・広報やホームページを活用し、新資料の紹介、図書館の事業や活動等の情報を提供する。										
・障害者へのサービスの充実を図る。										
・外国人等へのサービスの充実を図る。										
② 児童サービスの提供										
・「ブックスタート」・「新入生ブックプレゼント」事業の継続とともに、フォローアップを図る。										
・乳幼児からのおはなし会の充実とともに、保育園児や幼稚園児への読み聞かせサービスを進める。										
・小中学校の調べ学習等に対応するために、学校と連携を深め学習支援体制の強化を図る。										
③ 資料の収集・整理										
・利用者の求める情報や最新情報を提供するため、選書の充実を図る。										
・地域資料の収集・充実に努める。										
④ 図書館ボランティアとの連携協力										
・利用者へのよりよいサービスを目指して、乳幼児へのおはなし会・小中学校への朝読書等への参加や協力をする。										
・図書館の事業等への参加・協力を促進する。										
・ボランティア養成の研修の充実に努める。										
⑤ 市内の各図書館及び中央市司書会と連携										
・中央市内小中学校と市立各図書館の連携を密にし、ネットワークの円滑な運用を図り、資料の検索・貸出を推進する。										
・「中央市司書会」との連携を密にし、情報交換と研修の場とする。										
⑥ 職員の資質向上										
・専門職としての職員の研修の機会を確保する。										
・職員一人ひとりの能力を生かし住民との関わりの中で、専門的な職員としての資質の研鑽に励む。										
統 計	図 書	蔵書点数		貸出点数		主	4月	美術展	10月	絵本講座 コンサート
		一 般	71,592	59,456	5月		スクリーン紙芝居と腹話術 写真部作品展	11月	読み聞かせ講座 ブックリサイタル	
	児 童	31,989	40,838	な	6月	絵画部作品展 押し花展	12月	クリスマス会 コンサート		
	合 計	103,581	100,294			朗読発表会 図書館まつり	1月	年始めのつどい		
	雑 誌	5,176	10,289	事	7月	写真展 コンサート	2月	幼稚園児作品展		
	ビ デ オ	1,829	4,502			遺跡展 押し花体験教室 人形劇	3月	コンサート		
	D V D	374	3,480	業	8月	マンガ展 映画会	定 例	第3火曜日 トミーくんのおはなしあそびタイム		
	C D	1,788	4,961			幼稚園児作品展 ブックトーク	第2土曜日 キッズおはなしききタイム			
	L D	411		計	9月					
	そ の 他	476	337							
	合 計	113,635	123,863					(H21年度事業)		
		登 録 者 数	利 用 人 数	貸 出 数						
	田 富	3,877	17,372	69,167						
	玉 穂	3,782	1,970	8,062						
	豊 富	881	344	1,372						
市 外	6,806	10,540	45,262							
合 計	15,346	30,226	123,863							

(数値はH21.4.1現在)

< 豊富郷土資料館の現状 >

豊富郷土資料館		所在地	電話	FAX	館長氏名									
		中央市大鳥居1619-1	269-3399	269-3397	笠井 孝次									
施設内容	郷土資料展示室、シルク資料展示室、展示コーナー、ハイビジョンシアター													
開館時間	午前9時～午後5時													
休館日	月曜、祝祭日の翌日、年末年始													
入館料	大人 250円 子ども 100円 (20人以上団体割引)													
存在意義 (役割)	郷土の歴史、民俗、産業及び芸術に関する資料の収集、保管及び展示等を行い、住民の知識及び共用の向上を図る、本市所管唯一の施設。													
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中央市の歴史を語るうえで不可欠な存在となるよう資料館の認知度を高める。 ・先人より伝えられてきた資料を適切な管理の基、後世に引き継ぐ。 													
運営 事業	実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層に対応できる展示に努める。 ・市民のニーズを把握することに勤め、サービスの向上に努める。 ・全国的にも質の高い養蚕関連の展示を生かし、本館の独自性を出す。 												
	目 的													
	資料 収集・保管	・中央市の文化に関する貴重な資料を次世代に引き継ぐため収集・保管する。												
	資料 調査・研究・展示	・資料を調査・研究し、市民の理解を容易にするとともに、資料価値を高める。												
	啓蒙・普及	<ul style="list-style-type: none"> ・市民へ学習機会を提供し、郷土の歴史を理解してもらい、後世へ継承してもらおう。 ・学校教育と連携を深め、地域から必要とされる資料館を目指す。 												
	施設管理	・安全・衛生及び利用後の美観において良好な状態を保つことにより、常に快適な利用環境をつくる。												
	手 段													
	資料管理	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料カード、台帳の作成、データベース化。 ・資料寄贈・寄託への対応。 												
	資料展示	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の継続的開催。 ・展示説明の充実。 												
	各種教室	・体験教室、講演会、史跡巡り等による歴史に触れる機会の創出。												
資料解説	・授業内容に対応した展示。													
施設及び設備 器具維持保全	・定期清掃・点検。													
入 館 者 数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	大人	97	89	57	107	142	150	205	240	88	37	59	123	1,394
	小人	17	113	110	16	19	9	464	202	24	76	130	10	1,190
	幼児	8	1	1	2	5	9	6	42	1	4	1	7	87
	ハイビジョン	22	158	105	101	82	53	672	411	33	76	133	34	1,880
	その他	262	46	6	69	65	84	275	192	73	11	21	83	1,187
	合計	406	407	279	295	313	305	1,622	1,087	219	204	344	257	5,738

(数値は平成20年度)

(3) 文化財

現在、国指定 2、同登録 1、県指定 4、市指定 27、計 34 の文化財等がある。

文化財一覧

名 称	種 別	所 在	指定年月日	備 考
歡盛院 木造薬師如来座像	彫刻	下三条88	明治39年9月6日	国指定
永源寺 木造聖観音菩薩立像	彫刻	下河東880	明治39年9月6日	国指定
旧小井川郵便局	建造物	布施2051	平成10年12月11日	国登録
八幡穂見神社本殿	建造物	布施2034	昭和40年5月13日	県指定
甲斐国志草稿本及び 編集諸資料	書跡	西花輪89	昭和40年8月19日	県指定
浅利与一層塔 附五輪塔六基	建造物	大鳥居1621	昭和46年4月8日	県指定
大福寺 木造薬師如来座像	彫刻	大鳥居1621	平成18年4月27日	県指定
永源寺 木造普化禅師座像	彫刻	下河東880	昭和50年3月2日	市指定
古文書 1 通	文書	下河東880	平成5年2月22日	市指定
葵金具付御簾 2 竿	工芸品			
明暗寺尺八 2 管	工芸品	乙黒676	昭和50年3月2日	市指定
明暗寺屋根瓦 2 枚	工芸品	乙黒668	昭和50年3月2日	市指定
明暗寺屋根瓦 1 枚	工芸品	下河東880	昭和50年3月2日	市指定
歡盛院 木造釈迦如来座像	彫刻	下三条88	平成8年9月24日	市指定
龍徳寺 木造聖観音菩薩座像	彫刻	中楯1332	平成8年9月24日	市指定
木造毘沙門天 持国天立像	彫刻	乙黒661	平成5年2月22日	市指定
粘土節	無形民俗		昭和56年3月	市指定
八幡大神社本殿附棟札	建造物	西花輪3976	昭和63年2月9日	市指定
諏訪神社本殿	建造物	東花輪700	昭和63年2月9日	市指定
長徳院本堂	建造物	西花輪1446	平成11年10月1日	市指定
大福寺 木造聖観音菩薩立像	彫刻	大鳥居1621	昭和45年3月1日	市指定

大福寺 木造多聞天立像	彫刻	大鳥居1621	昭和50年3月1日	市指定
大福寺 木造不動明王立像	彫刻 2 軀	大鳥居1621	昭和50年3月1日	市指定
慈運院 石造六地藏菩薩立像	彫刻	関原1314	平成4年2月10日	市指定
木造延命地藏 菩薩立像	彫刻	木原1076	平成4年2月10日	市指定
三星院の梵鐘	工芸品	木原1800	平成15年6月6日	市指定
石造十王像附 奪衣婆像・懸衣翁像	有形民俗	大鳥居194	平成7年9月18日	市指定
田安明神	史跡	大鳥居1967	昭和45年3月 1 日	市指定
王塚古墳	史跡	大鳥居4256	昭和45年3月 1 日	市指定
山宮のケヤキ	天然記念物	大鳥居2764 - 1	昭和45年5月30日	市指定
延命寺のイチョウ	天然記念物	木原1076	平成4年2月10日	市指定
石原家のケヤキ	天然記念物	関原1333	平成4年2月10日	市指定
七覚川河川敷のケヤキ	天然記念物	高部公民館前	平成4年2月10日	市指定
大福寺破損仏群	歴史資料	大鳥居1621	平成19年12月5日	市指定
平田宮第 2 遺跡 出土木製品	考古資料	臼井阿原301 - 1	平成19年12月5日	市指定

5 教育委員会の現状

(1) 組織

教育委員会

「教育委員会は、5人の委員をもって組織する」

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 3 条)

「委員のうちに保護者である者が含まれるようにしなければならない」

(同法第 4 条の 4)

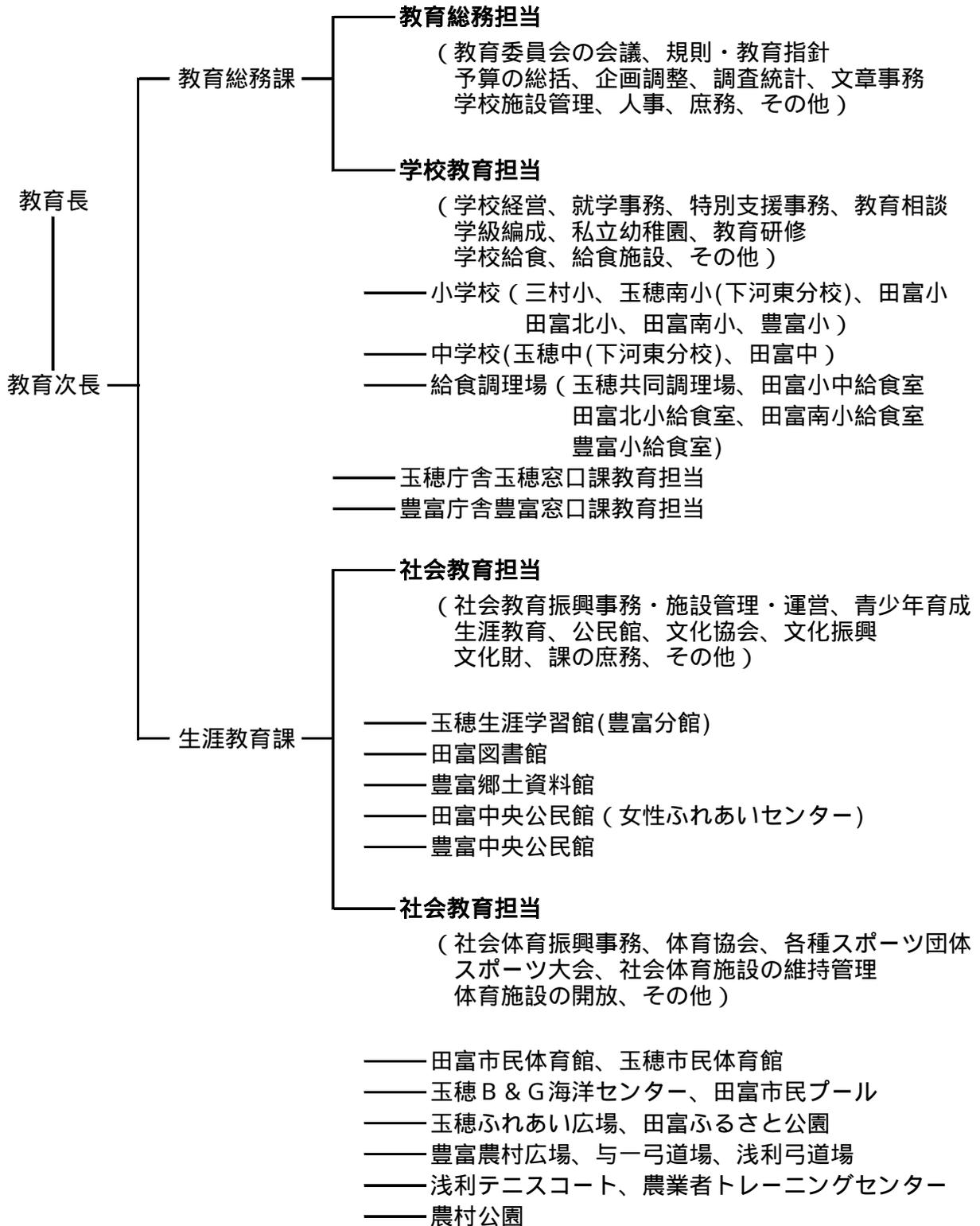
教育委員長 1 人

教育委員長職務代理 1 人

教育委員 3 人 (教育長を含む)

同事務局

「教育委員会の権限に属する事務を処理させるため、教育委員会に事務局を置く。」



教育関係組織

- ・社会教育委員会（兼公民館運営審議会委員）（12人）
- ・給食運営委員会（20人）
- ・給食施設検討委員会（若干人）
- ・文化財保護審議会（6人）
- ・豊富郷土資料館運営委員会（6人）
- ・図書館協議会（14人）
- ・体育指導委員協議会（31人）
- ・自治会体育委員（60人）
- ・青少年育成推進委員会（60人）
- ・子どもクラブ指導員会（60人）
- ・文化協会（書道、絵画、舞踊、詩吟、囲碁、将棋、花卉園芸等 25部）
- ・体育協会（野球、バレー、剣道、ゲートボール、グラウンドゴルフ等 23団体）
- ・スポーツ少年団(野球3、バレー3、空手、剣道、バスケット、サッカー等 24団)

(2) 所掌事務

教育総務課

〔教育総務担当〕

教育委員会会議に関する事。教育方針に関する事。予算の統括に関する事。事務局、学校その他の教育機関の職員(事務局の組織に関する規則参照)の任免、その他人事に関する事。

教育に係る調査及び統計に関する事。文章事務に関する事。企画調整に関する事。

教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事。公印の管理に関する事。情報公開及び個人情報保護に関する事。学校評議員に関する事。学校行事に関する事。通学区域の設定及び変更並びに通学路に関する事。教職員の人事及び服務に関する事。教職員の研修に関する事。教職員に係る諸調査統計に関する事。その他指導に関する事。(県教育事務所との連絡調整)。陳情及び請願に関する事。叙位叙勲に関する事。事務局内の連絡調整に関する事。²¹学校施設管理等に関する事。²²公用車の管理に関する事。²³その他、他の課及び担当に属さないこと。²⁴課の庶務に関する事。

〔学校教育担当〕

学校経営に関する事。教育研究に関する事。教育行政の基本的な計画の策定及び振興管理に関する事。教育相談に関する事。教科書及び教材教具の取扱いに関する事。学習指導及び児童生徒(生活)指導に関する事。学級編成に関する事。就学事務に関する事。

就学援助に関する事。学校基本調査に関する事。学校図書館に関する事。私立幼稚園に関する事。ALTに関する事。ことばの教室に関する事。適正就学に関する事。

特殊学級に関する事。奨学金に関する事。スクールカウンセラーに関する事。学校給食に関する事。給食施設の管理運営に関する事。²¹保健衛生に関する事。²²学校医に関する事。²³就学時健診に関する事。²⁴児童及び生徒の検診に関する事。²⁵教職員の安全衛生に関する事。²⁶前各号に掲げるもののほか、学校教育に係わる事務。

生涯教育課

〔社会教育担当〕

社会教育振興に関する事。社会教育施設の管理運営に関する事。青少年育成に関する事。生涯学習機会の推進に関する事。公民館活動に関する事。教育文化交流に関する事。社会教育団体の育成指導に関する事。文化協会に関する事。芸術文化振興に関する事。文化財の保護及び保存に関する事。文化財保護審議会に関する事。指定文化財に関する事。豊富郷土資料館に関する事。豊富郷土資料館運営委員会に関する事。文化財の活用に関する事。埋蔵文化財の取扱いに関する事。鉄砲刀剣類に関する事。前各号に掲げるもののほか、社会教育に係わる事務。課の庶務に関する事。

〔社会体育担当〕

社会体育の振興に関する事。体育協会に関する事。各種スポーツ関係団体の指導育成に関する事。市民スポーツ活動の普及及び奨励に関する事。各種スポーツ大会等に関する事。学校施設及び社会体育施設の開放に関する事。社会体育施設等の維持管理に関する事。前各号に掲げるもののほか、社会体育に係わる事務。

<玉穂支所玉穂窓口課>

〔教育担当〕

学校教育に関する事。社会教育に関する事。社会体育に関する事。

<豊富支所豊富窓口課>

〔教育担当〕

学校教育に関する事。社会教育に関する事。社会体育に関する事。

<図書館>

公印の保管に関する事。文書の收受及び発送に関する事。企画、調査及び統計に関する事。館報及び参考資料の発行及び頒布に関する事。図書館協議会に関する事。関係各機関との連絡及び協力に関する事。職員の勤務及び研修に関する事。予算の編成及び執行に関する事。施設及び設備の維持及び管理に関する事。図書資料の収集、整理及び管理に関する事。視聴覚資料の収集、整理及び管理に関する事。古文書、古記録等地域資料の収集、整理及び管理に関する事。行政資料の収集、整理及び管理に関する事。個人貸出し、団体貸出し、相互貸借、複写サービス等資料提供に関する事。読書相談及びレファレンスに関する事。児童奉仕に関する事。身体障害者奉仕に関する事。読書会、研究会、講演会、観賞会、映写会、資料展示会等の開催及び援助に関する事。読書室、研修室及び視聴覚ホールの利用に関する事。

(3) 教育委員会の事務の点検及び評価

平成20年4月1日より、改正「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が施行され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない(第27条)」こととなった。

以下は、平成20年度の事例。平成21年3月定例議会へ提出し、広報及びホームページで公表した。

平成20年度中央市教育委員会の事務の点検及び評価

平成21年3月19日 中央市教育委員会

項目	観 点	評定の平均値
総合評価	中央市の教育の基本「まごころ」	4.0
	1 生きる力をはぐくむ教育(生)	3.8
	2 命を大切にする教育(命)	4.2
	3 信頼しあう教育(信)	3.4
教育総務課 教育総務 学校教育	1 企画、指導、管理は適切か。	3.8
	2 施設・設備は充実しているか。	3.6
	3 人事や組織の改善に努めているか。	3.6
	4 教育委員会の会議は充実しているか。	3.8
	1 基礎基本の徹底、学力向上に努めているか。	3.6
	2 心の教育は充実しているか。(含むいじめ・不登校)	3.8
	3 健康や体力の向上に努めているか。(含む給食。部活動)	4.0
	4 学校への指導・管理は適切か。	3.8
生涯教育課 社会教育 社会体育	1 生涯学習は充実しているか。	3.4
	2 文化の振興に努めているか。(含む文化財保護)	3.8
	3 図書館事業は充実しているか。	4.8
	4 青少年の健全育成に努めているか。	3.2
	1 社会体育は充実しているか。	3.4
	2 体育施設の管理、充実に努めているか。	4.0
	3 スポーツ活動の振興を努めているか。	3.8
	4 関係団体と連携して事業を進めているか。	3.2
教育委員	1 教育委員は誠実に職務を遂行しているか。	3.6
事務局	1 事務局職員は誠実に職務を遂行しているか。(服務、接客など)	3.2
総平均値 (上記22項目の評定の平均値)		3.7

「評定の平均値」は各教育委員が、上記22項目について、

5段階絶対評価(5:極めて満足である 4:満足である 3:普通である 2:不満足で

ある 1：極めて不満足である)で、評定したものの平均値です。

<p><その他> 「教育の日(まごころの日)」を制定するなど、中央市の教育の基本の徹底に努めた。</p>
--

項目	所見
総合評価	<p>中央市の教育の基本は「まごころ」。今年度は新たに「中央市教育の日(まごころの日)」を制定し、まごころで豊かな中央市を拓くべく、その徹底を図っている。</p> <p>教育基本法や、教育三法の改正を受け、「保護者の教育委員への登用」、「教育委員会の事務の点検評価」等を積極的に取り入れている。学校教育や、生涯学習を通して知・徳・体を中心に生きる力を育み、命を大切にする教育を推進するなど、人格の完成を目指し心身共に健康な市民の育成に努めている。</p> <p>価値観の多様化、多文化共生が進む中で互いの信頼関係づくりが課題となっている。また、生涯教育分野でも「中央市の教育の基本」をより徹底することが望ましい。</p>
教育総務課 教育総務	<p>今年度より、オーストラリアへの中学生語学研修事業を実施した。また、地域ぐるみの安全体制整備事業やCAP事業、キッズISOプログラム等に取り組んでいる。</p> <p>豊富小体育館改築事業や各施設の設備の充実、修繕を出来るだけ行っているが、多くの施設で老朽化が進んでおり計画を立て順次整備する必要がある。</p> <p>「教育は人なり」という。学校現場、図書館、教育委員会事務局等に多くの人員を配置し、多様なニーズに応えている。決して十分とは言えないが精一杯の努力はしている。課題であった現業職員の異動も行った。教育委員会の会議では、積極的に情報を公開し協議する中で諸施策を実施している。</p>
学校教育	<p>未来に生きる児童生徒の教育を充実するため、市単独教員、情報教育指導員、ALT、ポルトガル語通訳、心の相談員、司書、調理員、栄養士、環境整備員の配置等出来るだけ多くの支援を行っている。文科省全国学力・学習状況調査では全国的傾向と同じく基礎的知識を問う問題の正答率が高いが知識を活用する応用力の正答率が低い。</p> <p>命の大切さを学ぶ体験、道徳教育・福祉教育の充実等に取り組んでいる。不登校は県平均よりは少ないが増える傾向にあり、家庭との連携等が課題である。</p> <p>心身の健康管理や「地産地消」安全・安心の食育に努めた。部活動では立派な成果を上げてはいるものの児童生徒の体力向上に課題がある。合唱や吹奏楽等も盛んである。</p> <p>各校長・教頭と市教委事務局が毎月八校会を開催し、指導の徹底を図ると共に連携を密にして教育諸条件の整備に努めている。</p>
生涯教育課 社会教育	<p>社会教育計画に基づき、各種講座、教室を滞りなく行い多くの市民が参加した。パソコン教室、高齢者学園は特に好評である。「文化財と歴史をたずねて」の広報記事が好評。図書館事業では貸し出し数をはじめ全国トップクラスの高い評価を得、市内外の多くの人々に利用されている。豊富分館も充実してきた。県下初の「新入生ブックプレゼント事業」を開始した。ロックタウンがオープンするなど、環境が変化する中で、今年から夏冬休みのパトロールも行い健全育成に努めている。</p>

社会体育	<p>市民一人一人がスポーツに親しむ機会を提供するため、各種スポーツ団体等と連携して事業を実施した。スキー教室は毎年好評である。ニーズに応え新たに健康体操教室、フットサル、ボウリング大会も実施した。市民グラウンドゴルフ大会は雨天中止となり残念だった。</p> <p>また、今年度は田富南小学校の夜間照明及び外トイレを設置。県体育祭等では剣道やテニス等で好成績を上げた。懸案であったユニホーム購入の助成を開始した。「スポーツ少年団指導者協議会」を設立した。</p>
教育委員	<p>日程等を早めに調整し全員参加のもと、オープンに議論をつくし活性化を図った。関係機関と連携し、教育諸条件の整備・充実に努めた。</p>
事務局	<p>ほとんどの事務局職員は誠実に職務を遂行している。職員の士気を高めるため、なるべく早く、「人事評価制度」等を導入する必要がある。</p>